

<b>パブリック・マネジメント</b>		<b>工藤 一成</b>	
---------------------	--	--------------	--

配当年次	1年次	配当学期	1学期	科目区分	アドバンスト
単位数	2単位	必修・選択	選択	授業形態	講義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標  
 / Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識	○	公共セクターの特性と仕組み、制度の専門的知識を修得する。
	実践知識		
技能	分析解決技能	○	公共セクターの機能、役割などについて、事例などを通じて調査分析できる。
	実務技能		
	新規事業技能		
態度	倫理観態度	○	公共性の意義を十分理解し、公的業務に従事する職業倫理を有する。
	企業変革態度		
	地域リーダー態度	○	公的課題の解決に積極的に取り組むリーダーシップを身につける。
	国際協調態度		

※ ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

※ 2013年度以降入学生が対象です。

パブリック・マネジメント

### 授業の概要

少子・高齢化や財政難などを背景として、わが国においては中央集権的な管理行政に限界が生じ、90年代後半から新たな行政手法としてNPM (New Public Management) の導入が推進されています。市場の活用、顧客主義、現場への分権などの考え方にもとづき、行政の経済性や効率性を重視するNPMはVFM (Value For Money) などの視点によって多様性を前提とする分権型社会の構築に大きな役割を担っています。分権型社会とは、支え合いを基本原理とする「新しい公共空間＝新しい市場」の形成過程であると考えられますが、現在ではNPMからさらに進んで、NPOなどの市民セクターの役割・機能の増大、さらには政治過程を含む公共ガバナンスのあり方が問われています。そのため、制度・非制度の両面から、国や地方自治体、医療・福祉・教育等の公益団体、地縁団体その他の市民セクターのマネジメント、企業の公共的役割などを検討しつつ、新しい公共空間の創造や公共ガバナンスのあり方についてデザインすることを試みます。

### 教科書

適宜、資料を配付します。

### 参考書

- ・「非営利組織の経営」(1991年) P.F. ドラッカー ダイアモンド社
- ・「公共経営学入門」(2015年) 松永佳甫 大阪大学出版会
- ・「非営利組織のマネジメント」(2009年) 島田 恒 ダイアモンド社
- ・「『分かち合い』の経済学」(2010年) 神野直彦 岩波新書

### 授業計画・内容

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① パブリックマネジメント総論 (1)</li> <li>② パブリックマネジメント総論 (2)</li> <li>③ 公益事業</li> <li>④ 公益法人、NPO制度</li> <li>⑤ パブリック組織の組織・人材育成</li> <li>⑥ パブリック組織の事業構築の仕組み</li> <li>⑦ パブリック組織のマネジメント手法</li> <li>⑧ パブリック組織の社会的使命</li> <li>⑨ パブリックサービスの改革手法 (1)</li> <li>⑩ パブリックサービスの改革手法 (2)</li> <li>⑪ パブリックサービスの改革手法 (3)</li> <li>⑫ パブリックサービスの改革手法 (4)</li> <li>⑬ NPMの成果と今後の課題</li> <li>⑭ 公共ガバナンスと政治過程</li> <li>⑮ まとめ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>【公共セクターの役割や特性、歴史、職業倫理、ソーシャルキャピタルの概念】</li> <li>【NPMを必要とする社会的背景とその理論】</li> <li>【特性、医療、福祉、教育、文化、災害支援】</li> <li>【NPOなど市民セクター】</li> <li>【官民の人事制度の特徴と比較】</li> <li>【NPOの事業構築と財務】</li> <li>【業績評価システム、BSC】</li> <li>【持続性、スタッフ満足度、企業との関係】</li> <li>【官民パートナーシップ、民間委託】</li> <li>【独立行政法人、指定管理】</li> <li>【第三セクター、外郭団体】</li> <li>【PFI、民営化、コミュニティビジネス】</li> <li>【NPMの成果と現状、行政の役割の変容】</li> <li>【市民主体による社会コントロールの過程】</li> <li>【多様な主体による新しい公共、ソーシャルキャピタルの構築】</li> </ul> |
|---|---|

<b>成績評価の方法</b>	講師と受講生の議論をもとに進め、課題に対するプレゼンテーションやレポートを求めます。 日常の授業への取り組み・・・50% レポートや課題に対するプレゼンテーション・・・50%
<b>事前・事後学習の内容</b>	事後学習としては、配付資料にもとづき、適宜、参考文献を参照してください。
<b>履修上の注意</b>	制度及び非制度の両面からのアプローチを基点に、時事問題や事例などを課題として討議します。
<b>担当者からのメッセージ</b>	学生の皆さんからの活発な議論を期待します。
<b>キーワード</b>	分権型社会、NPM、市場化、非営利法人の経営、公共ガバナンス